

臨床研究へのご協力のお願い

金沢医療センターでは、下記の臨床研究を実施しており、「持参薬使用期間標準化と薬剤師による処方支援体制導入が病院業務に与える影響」に該当する方へご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 持参薬使用期間標準化と薬剤師による処方支援体制導入が病院業務に与える影響

[研究責任者] 金沢医療センター 薬剤部 酒谷 健斗

[研究の背景]

入院時に患者さんが持参された薬剤（持参薬）の管理は、医療安全上重要な業務です。一方で、持参薬の確認や院内採用薬への切り替え、処方入力などは医師および薬剤師の業務負担となっています。当院では 2024 年 12 月より、持参薬の使用期間を原則 7 日間とする運用の標準化と、薬剤師が処方提案を行う仕組みを導入しました。本研究では、この運用変更が病院業務に与えた影響を評価します。

[研究の目的]

持参薬使用期間の標準化および薬剤師による処方支援体制導入前後における業務指標を比較し、業務効率化や医療安全への影響を明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2024 年 6 月 1 日から 2025 年 6 月 30 日までの期間に、当院において持参薬鑑別業務の対象となった患者さん

●研究期間：院長許可日から 2027 年 3 月 31 日まで

●利用する試料（血液・組織等の検体）、カルテ等の情報

試料：なし

カルテ等の情報：

- 疑義照会件数および内容
- 再調剤件数
- 持参薬鑑別件数
- 薬剤総合評価調整加算件数
- 薬剤管理指導件数
- 持参薬鑑別時間
- 処方箋枚数

□ 患者数

なお、氏名、患者 ID、生年月日、住所等の個人を特定できる情報は利用しません。

●利用又は提供を開始する予定日：院長許可日以降

●試料や情報の管理

本研究で使用する情報は研究責任者が適切に管理します。研究データはパスワードで保護された電子媒体に保存し、研究終了後 5 年間又は研究結果公表後 3 年間のいずれか遅い日まで保管します。その後は復元できない方法で廃棄します。

[研究組織]

本研究は当院のみで実施します。

研究責任者：薬剤部 酒谷 健斗

[個人情報取扱い]

研究に利用する試料や情報を院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。

将来、この研究で得られた情報も別の研究に利用（二次利用）する可能性があります。その場合も個人を直ちに判別できる情報を出すことはありません。二次利用する場合は、その研究計画について改めて倫理審査委員会及び研究機関の長の承認を得て実施となり、その内容は参加機関のホームページ等で公開されます。

[研究の資金源、利益相反*について]

この研究は、特定の企業からの資金提供を受けておらず、特定の企業の利益を優先させて、あなたの治療方針を変えてしまったり、研究の公正さを損なったりすることはありません。

[研究の参加について]

この研究実施への参加や途中での参加中止は、あなたの自由な意思で決められます。同意される場合には、同意書に署名し、日付を記入して研究責任者等に渡してください。

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料（血液・組織等の検体）やカルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構金沢医療センター 薬剤部 酒谷 健斗

電話 076-262-4161 FAX 076-222-2758